



広報

まっかり

真狩村

開基 130 年記念特別号





開基 130 年を迎えて

明治 28 年、羊蹄山南麓のマッカーリベツ原野に開拓の鋤が下ろされてから 130 年を迎えました。

時代を経て、この真狩村が今在るのは、未開の大地を切り開くとともに基幹産業である農業の基盤を確立し、また、この地の生活基盤を整え共に暮らした諸先輩の歩みがあったからこそです。改めて諸先輩に敬意を表する次第です。

先の時代にも戦争や高度経済成長など大きな社会変遷がありましたが、この 10 年も外国人旅行客の増加、人口減少に端を発する IT 機器の発展や労働力としての外国人移住者の増加など、社会の情勢は大きく動いています。

今回、開基 120 周年以降の出来事を、「広報まっかり 130 年記念特別号」としてまとめましたので、記憶を遡りながらご覧いただければ幸いです。

また、開基 120 年の年に生を受けた真狩小学校 4 年生皆さんに「10 年後の真狩村」を考えてもらいました。みんなの想い描く未来へ向けて、新たなスタートをきりましょう。

皆様のより一層のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

令和 6 年 12 月

真狩村長

岩原 請一



村章は真狩村の頭文字の「マ」の字で六稜星を図案化。中央の稜線は羊蹄山の毅然たる山の様子を表し、村民相互に肩を組み、融和と協調をもとに連携し、実り豊かな真狩の限りない発展と躍進を象徴しています。

開基 80 周年を記念して
1975 年に指定



村の木「カツラ」

村の花は、開基 120 周年を記念して 2015 年に指定



「ジャガイモの花」



「ゆりの花」



明治

- 明治28年 虻田郡を一円とする虻田戸長役場生まれる
香川・福島県人5戸18名がマッカリベツ原野に移住【真狩村の開基となる】
- 明治30年 虻田村から※真狩村として分村独立し、戸長役場を留寿都村に置く
【※真狩村とは大正11年まで留寿都村を含む】
- 明治31年 真狩村尋常小学校創立
- 明治32年 真狩別駅通所創設
- 明治34年 真狩村から狩太村（現ニセコ町）が分村独立
- 明治36年 チライベツ原野30万坪の国有未開地予定存地の許可を19名が受ける
- 明治37年 御保内簡易教育所開設（御保内小学校前身）
- 明治38年 御保内簡易教育所付属御保内特別教授所設置（旧川崎小学校前身）
- 明治39年 知来別簡易教育所開設（旧知来別小学校前身）
- 明治40年 真狩別に郵便等取扱所開設（真狩郵便局前身）
- 明治41年 知来別簡易教育所が知来別尋常小学校となる
- 明治42年 真狩神社建築落成
- 明治44年（大正元年）川崎農場開放33名に全地譲渡
- 大正2年 開村以来の暴風雨発生、大凶作となる
- 大正4年 真狩別西部全焼（第1回大火）
- 大正6年 真狩村から喜茂別村が分村独立
- 大正7年 真狩別郵便局長が雪中殉職、忠犬ボチ話題に
真狩別電話開通
- 大正10年 真狩別市街地東部殆ど全焼（第2回大火）
- 大正11年 真狩村から真狩別村分村独立
真狩別発電所完成、真狩別市街地へ送電開始
- 大正12年 羊蹄山真狩登山口開かれる
- 大正13年 真狩別駅通所廃止



開拓直後のマッカリベツ原野



平成

- 昭和55年 羊蹄青少年の森、羊蹄自然の家オープン
公民館新築落成
第1回産業まつり（現ほくほく祭り）開催
羊蹄山ろく消防組合真狩支署庁舎落成
生涯学習の村宣言
- 昭和56年 細川たかしもほりコンサート開催
- 昭和59年 川崎小学校閉校
- 昭和62年 特別養護老人ホーム真狩羊蹄園開園
忠犬ボチ69年ぶりに帰村
- 平成元年 土産菓子「たかしせんべい」発売
郷土資料館「羊蹄ふるさと館」開館
香川県大野原町と姉妹提携
八洲秀章顕彰音楽碑除幕式
- 平成3年 ふれあい広場パークゴルフ場オープン
交流プラザオープン
- 平成4年 国松登ギャラリー開館
- 平成5年 真狩村史（開基100年）発刊
- 平成6年 開基百年記念式典挙行・村歌制定
開基百年モニメント・細川たかし像建立
まっかり温泉オープン
- 平成9年 真狩村農協が周辺8農協と合併し「ようてい農協」誕生
レストラン・マッカリーナ、フラワーセン
ター、世界のユリ園コテージオープン
真狩村サービスセンター開所
- 平成10年 「むらこん24」、細川たかしコンサート、花フェスタ、ほくほく祭りを同時開催
知来別小学校閉校
- 平成11年 保健福祉センター完成
下水道事業一部地域で供用開始
ゴミの有料・分別収集開始
- 平成12年 有珠山噴火 御保内地区等に降灰



真狩村のあゆみ

昭和

- 昭和3年 真狩尋常高等小学校新築移転（現在地）
- 昭和10年 殖民軌道真狩別く狩太間開通
- 昭和12年 澱粉製粉工場落成
- 昭和16年 真狩別村を真狩村に改称
- 昭和17年 開村記念式挙行
- 昭和21年 真狩村青年団結成（青年団体協議会前身）
- 昭和22年 真狩中学校・御保内中学校創設
第1回村議会選挙執行（定員16名）
直営真狩国民健康保険病院開院
- 昭和23年 役場庁舎新築落成
- 昭和24年 真狩村公民館新築
- 昭和29年 真狩高校独立校舎落成
- 昭和31年 公営住宅（12戸）の建設始まる
- 昭和32年 広報まっかり発行
- 昭和36年 ユリ根栽培が本格的に開始（斉藤行雄）
- 昭和38年 真狩村商工会創立
真狩市街地舗装道路路完成
- 昭和39年 真狩村開村70周年記念式典挙行
作曲家八洲秀章郷土訪問ショー開演
- 昭和40年 『真狩村史』発行
真狩へき地保育所・御保内へき地保育所設置
- 昭和43年 真狩村給食センター完成、全校給食開始
NHK軍人山に放送中継局設置
- 昭和46年 役場新庁舎落成
- 昭和47年 老人憩いの家、児童館完成
- 昭和49年 統合真狩中学校開校
- 昭和50年 細川たかし「心のこり」でデビュー
開村80周年祭を挙行、真狩祝太鼓を披露
有珠山噴火で全村に降灰で甚大な被害
- 昭和54年 森林学習展示館完成



- 平成13年 富里小学校閉校
- 平成14年 国松登ギャラリー閉館
- 平成15年 「まぐら貝の歌」出版
美原小学校閉校
- 平成17年 市街地再整備工事着工
観光大使に細川たかしさん、黒柳真理さんを委嘱
- 平成18年 真狩川河川公園完成
野の花診療所開所
フラワーセンターが「道の駅」としてリニューアルオープン
赤坂奴・浦安の舞・真狩祝太鼓を村無形民俗文化財に指定
- 平成19年 真狩村地域包括支援センター開所
- 平成20年 北海道洞爺湖サミット配偶者プログラムでマッカリーナにて昼食会、北のまるしえ開催
村民お祭り広場が5年ぶりに復活
八洲秀章生誕の地碑建立
- 平成21年 真狩キャンプ場リニューアルオープン
50年ぶりに熊（320kg）を仕留める
- 平成22年 旧真狩へき地保育所を真狩村地域子育て支援センターとしてオープン
- 平成23年 村内全域で光プロードバンド供用開始
ふれあい広場パークゴルフ場リニューアルオープン
- 平成24年 生涯学習の村宣言30年記念事業開催
役場庁舎耐震改修工事終了
- 平成25年 真狩高校「有機農業コース」「野菜製菓コース」の新コース開設
- 平成26年 羊蹄青少年の森が北海道から移管される
真狩村地下水保全条例制定
真狩村ふるさと納税「感謝特典制度」開始





- 4月・真狩フラワーセンター研修センターを改修し、シェアハウスとしてオープン
- 9月・北海道胆振東部地震発生、真狩村は震度4、北海道全体でブラックアウト
- 12月・真狩高校開校70周年
・真狩小学校開校120周年記念式典



- 5月・道の駅真狩フラワーセンターに真狩高校生カフェ「La mikka」オープン



- 8月・村開基120周年記念式典・ふるさと発信応援ステージ（細川たかしコンサート）を開催



元年

令和

30年

29年

28年

27年

平成

- 10月・第68回日本学校農業クラブ全国意見発表会にて真狩高校生が最優秀賞を受賞



- 3月・野の花診療所に感染症用診療室増築
- 9月・台風10号による暴風暴雨被害発生
- 10月・子育て世代向け移住・定住促進住宅（見晴ハウス）完成

- 7月・村民大運動会が第50回で幕を閉じる



真狩村 10年の軌跡



- 3月・御保内小学校閉校、118年の歴史に幕
- 4月・道の駅真狩フラワーセンター円形ハウスをリニューアル
- 9月・ほくほく祭りを4年ぶり開催
- 11月・村有地を民間譲渡し「社の森ふれあいタウン」として宅地分譲開始

- 4月・道の駅真狩フラワーセンターがリニューアルオープン
- 7月・後志管内6村で「後志のむら連携協定」を締結
- 9月・細川たかしギャラリーが移転オープン



- 2月・ひかり団地分譲開始
・新型コロナウイルス感染拡大により村内の小・中学校が臨時休校
- 9月・ほくほく祭り in まっかり コロナ禍により初の中止

6年

5年

4年

3年

2年

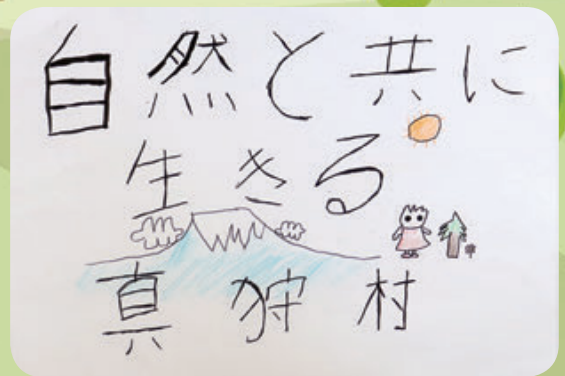
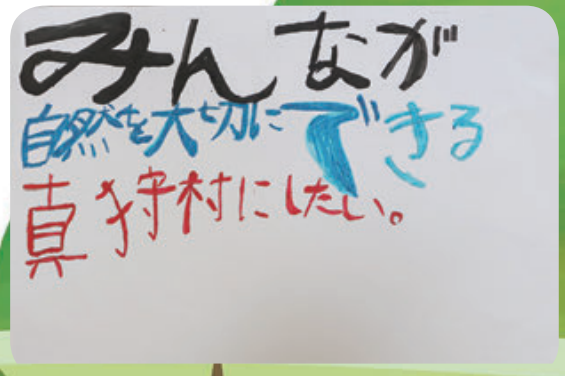
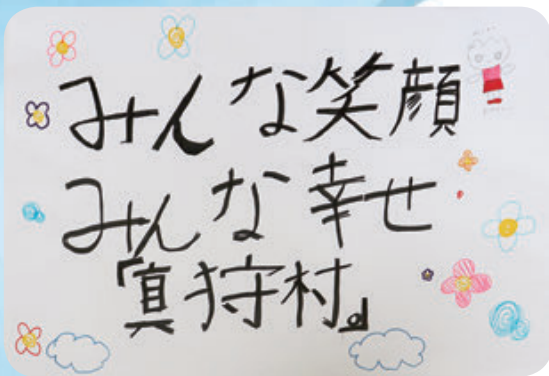


- 4月・道の駅真狩フラワーセンターキッズパークがオープン
- 11月・真狩中学校統合50周年記念式典



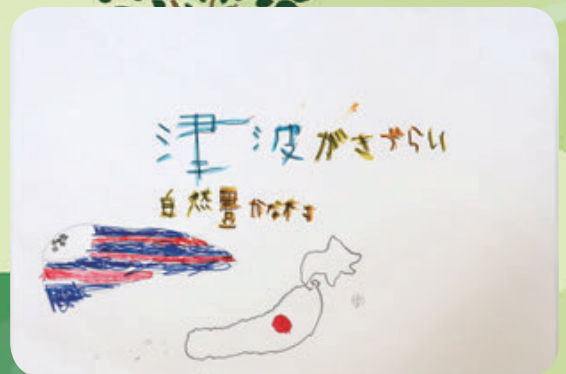
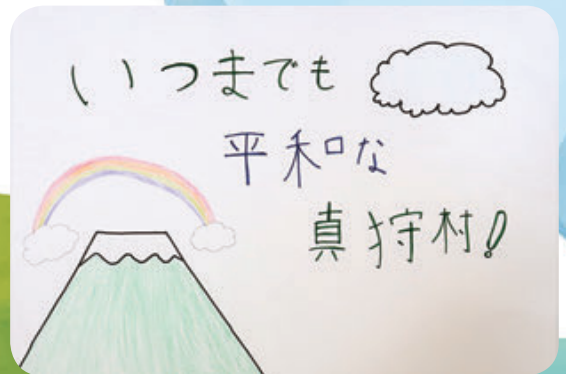
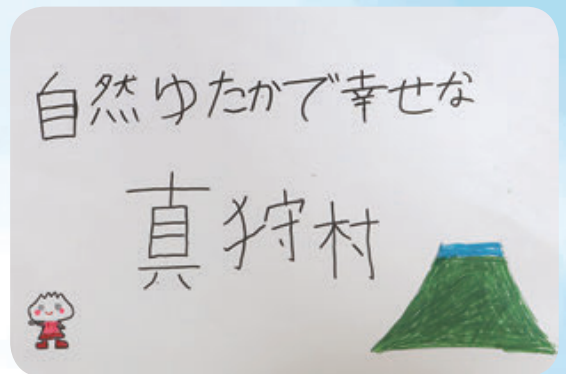
- 10月・認定こども園まっかり保育所増築工事完了
- 11月・御保内へき地保育所閉所、55年の歴史に幕
- 12月・ほくほく祭りの中止に伴い、全世帯を対象に「ほくほく抽選会」を実施

10年後、20歳になる真狩小学校4年生のみなさんに
真狩村の10年後を想像してもらいました



これからを担う子どもたちの笑顔とともに
まちづくりを進めていきます

the Future of Makkari



真狩村概要

真狩村は、蝦夷富士の名で知られる秀峰羊蹄山の南すそ野に広がる純農村です。
周囲はニセコ町、倶知安町、京極町、喜茂別町、留寿都村、洞爺湖町、豊浦町の6町1村にそれぞれ接しています。

村 政 施 行 日 ▶ 大正 11 年 4 月 1 日

交 通 機 関 ▶ 道南バス（倶知安駅から留寿都・洞爺行き乗車）

最 寄 の J R 駅 ▶ JR 函館本線「倶知安駅」

最 寄 の 高 速 道 I C ▶ 道央自動車道「豊浦」「虻田洞爺湖」

面 積 ▶ 114.25 平方キロメートル

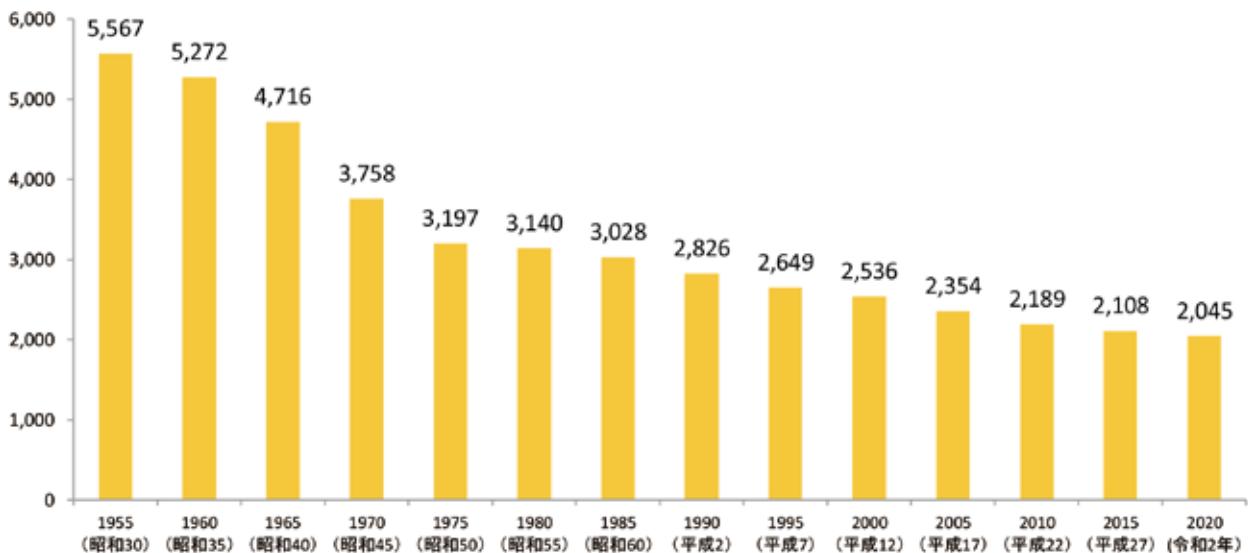
人 口 と 世 帯 ▶ 総人口：1,977人

（男：1,035人・女：942人） 世帯数：1,040戸（令和6年10月末現在）

村 名 の い わ れ ▶ アイヌ語「マクカリペツ」…羊蹄山を取り巻く川より転化したもの

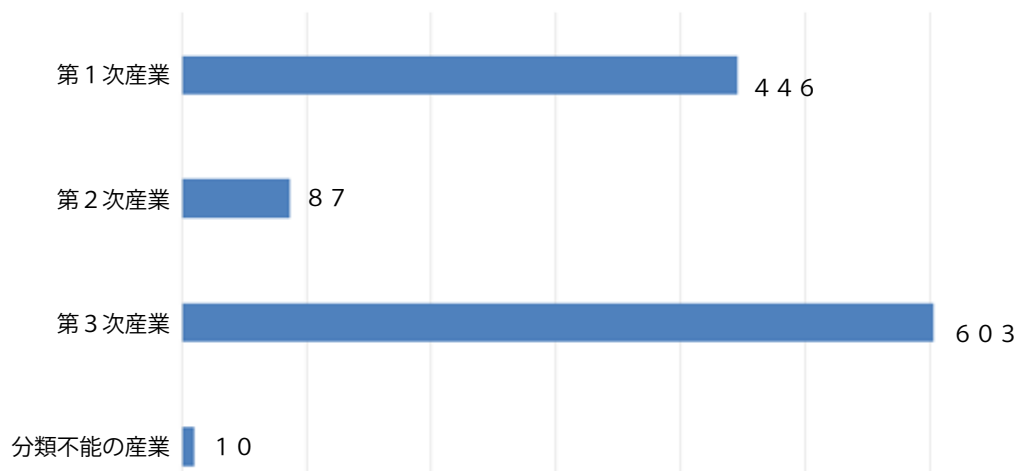
姉 妹 ・ 友 好 都 市 ▶ 香川県観音寺市（平成3年10月9日提携）

◀ 人口の推移 ▶（令和2年国勢調査）



真狩村の人口は、昭和30年に5,567人とピークを迎え、その後減少の一途をたどり、過疎化が進行しました。昭和45年には3,000人台となり、平成2年には2,000人台、そして、令和2年の国勢調査では、人口2,045人、世帯数903世帯との結果になりました。

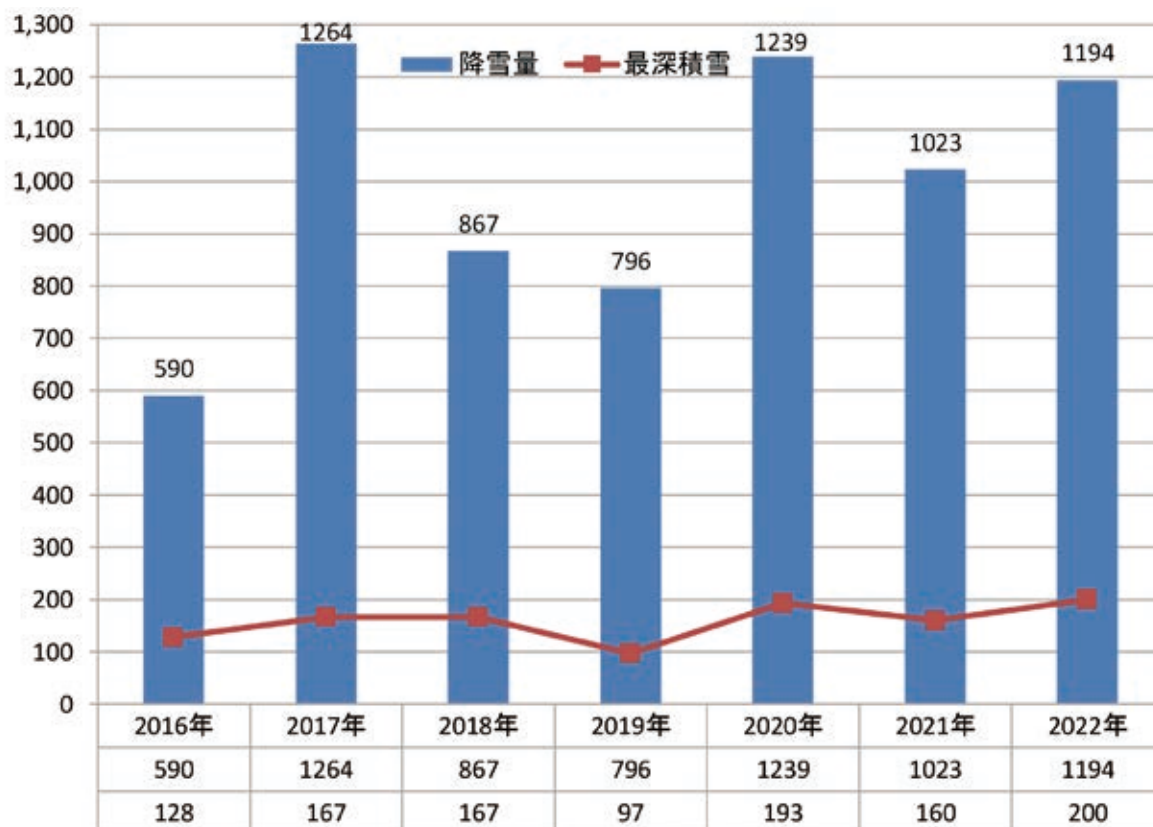
◀ 産業別15歳以上の就業人口 ▶（令和2年国勢調査）



◀ 平均気温の変化 ▶ (気象庁公表データ 美原観測所)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019	-6.40	-6.20	-1.30	3.40	12.20	14.00	18.00	19.20	15.50	9.90	0.10	-4.30
2020	-5.60	-5.10	-0.30	2.60	10.20	15.00	17.80	19.80	16.70	8.90	2.50	-5.70
2021	-7.70	-6.10	0.20	3.70	10.00	15.40	20.20	19.30	15.10	8.90	4.00	-4.30
2022	-6.60	-5.90	-1.10	4.70	11.00	13.80	19.80	19.00	16.00	9.00	3.40	-5.00
2023	-7.70	-6.00	1.00	5.10	10.50	15.80	20.10	23.30	17.90	9.90	3.00	-4.70

◀ 降雪量と最深積雪の推移 ▶



◀ 地目別土地面積・総面積 ▶ (令和5年度固定資産概要調書)

地目	面積 (㎡)	割合
田	132,155	0.12%
畑	30,818,293	26.97%
宅地	1,444,034	1.26%
鉱泉地	250	0.00%
池沼	86,040	0.08%
山林	36,664,405	32.09%
牧場	1,248,911	1.09%
原野	11,504,430	10.07%
雑種地	2,353,240	2.06%
その他	29,998,242	26.26%
総面積	114,250,000	100.00%



笑顔でつなぐ
うるおいあふれる村
まっかり



広報まっかり真狩村開基 130 年記念特別号

発行日 令和 6 年 12 月

発行 北海道真狩村

〒 048-1631 北海道虻田郡真狩村字真狩 118 番地

TEL 0136-45-2121 (代) FAX 0136-45-3162

<https://www.vill.makkari.lg.jp>

編集 企画情報課企画情報係

印刷 株式会社 総北海



広報まっかりは FSC® 認証紙で印刷しています。